

第3学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	プリント

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期・小テスト等 ・ パフォーマンス（技能）テスト ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期・小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・ 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・ 目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・ プリントは、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・ 学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等		主な学習目標
4	自分の成長と家族・家庭生活	①今の自分とこれまで	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。
		②わたしの生活と家族・家庭	・家族での生活を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。
		③家庭を支える社会	・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。
5 ・ 6 ・ 7 ・ 9 ・ 10	幼児の生活と家族	①幼児のころと今の自分	・自分の成長をふり返り、幼児期への関心を持つようにする。
		②幼児の体の発達	・幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解する。
		③幼児の心の発達	・幼児の言動、認知、情緒、社会性などの発達について理解する。
		④発達にとってのおとなの役割	・子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について理解する。
		⑤遊びが必要なわけ	・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。
		⑥遊びを支える環境	・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。
		⑦幼児との関わり方についてまとめよう	・幼児との触れ合い活動について、学んだことを発表する。
		⑧子どもの成長と地域	・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。
10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2	消費生活・環境	①消費生活のしくみ	・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。
		②家庭生活における収入と支出	・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。
		③いろいろな購入方法	・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。
		④購入前に知っておくことー売買契約ー	・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。
		⑤いろいろな支払方法・情報を活用した上手な購入	・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。
		⑥なくなる消費者被害	・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。
		⑦消費者を支えるもの 消費者の権利と責任	・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。
		⑧消費者が社会に与える影響	・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。
		⑨消費行動が環境に与える影響	・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。
3	これからの私と家族	①中学生にとっての家族について考えよう	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。